

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

世界の地図の下の方、白い大地が広がる南極には、海鳥やペンギンの声と風の音しか聞こえない場所が多くあります。そんな中に、人と人をつなぐ小さな郵便局があります。まわりは雪と氷、空はどこまでも青く、風はときどき顔にささるように冷たく当たります。それでも小屋には灯りがともし、切手と消印、だれかの思いがつまったはがきが静かに並びます。

この郵便局は一年中あいているわけではありません。冬は夜が長く、海はあれ、船が近づけないため、夏だけ人が交代で来て仕事をします。建物は大人の教室くらいの大きさで、小さなカウンターで切手やはがきを売り、手紙に消印を押し、集まった郵便をまとめます。となりには小さな台所とベッドがあり、働く人たちは料理や洗たくも分け合っています。

利用するのは、研究をする人、観光船で夏だけ訪ねる人、海の仕事の人たちです。だれもが家族や友だちへ「無事です」「元気です」「ペンギンを見ました」と短い言葉を送ります。ここから出た一まいは、受け取った人の部屋で長く大切にされます。南極からの手紙は、ふつうの町とちがう道のりを通ります。まず郵便局から船で氷の少ない港へ運ばれ、そこから各国の郵便にまかされて、飛行機やトラックで世界へ広がります。天気や海しいでは何週間も、時には何か月もかかることがあり、ポストに入れるその一しゅんには特べつな重みがあります。

野生の動物が多いのも南極の特徴です。とくにペンギンは人をあまりこわがらず、道のまん中で立ち止まることもあります。働く人も来た人も、えさをやらない、近づきすぎない、道をふさがない、ごみを出さない——というルールを守ります。小さな決まりの一つ一つが、自然といのちを守ります。

電気や水も工夫して使います。太陽の光で電気を

作る板や小さな発電機を組み合わせ、くみ上げた水を大切に使い、道具はこまめにあらいます。風の強い日は外の作業をへらし、むせんで連らくを取り、雪の日は出入口の雪かきをしてドアが開かなくならないよう気をつけます。どれも安全のための知恵です。

働く人の一日は、朝の見回りから始まります。建物のまわりにひびや雪の山がないかを見て、室内の温度や電気のようにすをチェックします。開局時間になると船から人が集まり、切手をえらび、記念の消印を押してもらい、写真をとります。静かな時間にはがきの仕分けや品物作りをし、夜には日記に天気と出来事を書きのこします。

南極の空は日によって表情が大きく変わります。雲ひとつない日は雪面が光って、めがねがないと目が痛いほど。風が強いと雪がこなになって空にまいて、近くの足あとさえ見えにくくなります。夏のある時期には夜でもうす明るく、時計を見ないと時間が分からないこともあります。そんな中で、小屋の灯りは旅人には道しるべのように見えます。

この場所には世界中からさまざまな言葉が集まります。国や言葉がちがっても、手紙にこめる気持ちはよく似ています。遠い家族を思う心、友だちへの感しや、見たことを伝えたい好奇心。郵便局の人たちはいてねいに消印を押しながら、「この便りが無事にとどきますように」と静かにねがっています。



(1) 下線部の表現に最も近い意味になるよう、慣用句を選びなさい。

ア 身を切るような風が吹く
 イ 顔が広い
 ウ 足を引っばる
 エ 雲をつかむ

答え ()

(2) 本文の説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 郵便局は一年中あいており、船はいつでも着く。
 イ 郵便局は夏だけ人が交代で来て仕事をする。
 ウ 夏は無人で、冬だけ研究者が手紙を出せる。
 エ 建物はとても大きく、宿泊施設はない。

答え ()

(3) 「そのしゅんには特べつな重みがあります。」の「その」が指す内容として最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 船が港に着くしゅんかん
 イ ペンギンに出会うしゅんかん
 ウ ポストに手紙を入れるしゅんかん
 エ 記念写真をとるしゅんかん

答え ()

(4) 南極の動物を守るためのルールを、本文の言葉で四つ抜き出して書きなさい。

① ()
 ② ()
 ③ ()
 ④ ()

(5) 本文にもとづき、安全のための工夫を一つ挙げ、その目的を合わせて三十字で説明しなさい。

()

(6) なぜ小屋の灯りが「道しるべのように」見えるのか。本文にもとづき、三十字で説明しなさい。

()

(1) 下線部の表現に最も近い意味になるよう、慣用句を選びなさい。

ア 身を切るような風が吹く
イ 顔が広い
ウ 足を引っばる
エ 雲をつかむ

答え (ア)

(2) 本文の説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 郵便局は一年中あいており、船はいつでも着く。
イ 郵便局は夏だけ人が交代で来て仕事をする。
ウ 夏は無人で、冬だけ研究者が手紙を出せる。
エ 建物はとても大きく、宿泊施設はない。

答え (イ)

(3) 「そのしゅんには特べつな重みがあります。」の「その」が指す内容として最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 船が港に着くしゅんかん
イ ペンギンに出会うしゅんかん
ウ ポストに手紙を入れるしゅんかん
エ 記念写真をとるしゅんかん

答え (ウ)

(4) 南極の動物を守るためのルールを、本文の言葉で四つ抜き出して書きなさい。

- ① (えさをやらない)
- ② (近づきすぎない)
- ③ (道をふさがない)
- ④ (けみをみださない)

(5) 本文にもとづき、安全のための工夫を一つ挙げ、その目的を合わせて三十〜四十字で説明しなさい。

解答例
風の強い日は外作業をへらし、無線連絡で状況を共有し安全確保する。

(6) なぜ小屋の灯りが「道しるべのように」見えるのか。本文にもとづき、三十〜四十字で説明しなさい。

解答例
白い大地と風雪で目印が少なく、灯りが旅人に場所と安心を示すから。